

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790300156		
法人名	社会福祉法人 心愛会		
事業所名	ハーモニ一並木		
所在地	福島県郡山市並木5丁目6-7		
自己評価作成日	22年5月10日	評価結果市町村受理日	平成22年8月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20		
訪問調査日	平成22年6月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

郡山市中心部に施設があり周辺にはスーパーや公園、学校などあり、外食や外出など行っていただき気分転換をはかっていただいています。 音楽を聞いたり、唄ったりする機会を多くとり、歌が好きな方に楽しんでいただいています
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 開設後、間もない事業所であるが地域密着型サービスの意義を理解しており、自治会に加入し、地域との交流に積極的に取り組み始めている。 2. 法人として職員の資質向上に努めており、計画的な研修を行っている。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念の手帳を全職員、所有し、理念の共有をしその中の行動基準に沿って実践につなげています。	法人理念は法人開設時に理事等で協議して作成し、全職員の業務手帳に記載しており、事業所の施設3大方針とケア3大方針も作成されてある。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域へ買い物などへ出かける活動を行っています。今後は運動会や夏祭りなど地域行事への参加を行っていく予定です。	地域の一員として自治会に加入し、地域清掃活動や学校運動会へ参加しており、地区だよりの回覧や、音楽ボランティアの受け入れ等を行っており、地域との交流がされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	買い物などの外出を通しグループホームが地域にあり認知症の方でも日常生活を行っている状況を少しずつ知っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	2か月に一回運営推進会議を開催し、防災等の施設の困りごとなどアドバイスをいただいています。	開催できなかった月があり、概ね2ヶ月に1回の開催とはなっていない。内容は、事業所の状況報告が中心であり、運営課題への取り組みや話し合い結果のフィードバック、会議記録のまとめ方等も不十分である。	会議の本来の設置目的である事業所の運営課題や外部評価結果などを会議の中で検討することが大切である。また、記録の仕方を工夫し会議結果のフィードバックを行い改善につなげて欲しい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当の方が施設見学にこられたり困りごとなど相談に乗っていただけて協力関係が築けているとおもいます。また、介護相談員が市町村から入っていただけていますので取り組みなどアドバイスいただけています。	事業所の運営課題について市担当職員に相談したり、毎月訪れる介護相談員に業務改善のアドバイスを求めるなどの取り組みを行っている。また、市の担当者が施設見学等に訪れている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を通して身体拘束をしないケアを理解し、実践しています。玄関に施錠しないための安全策としてセンサーの取り付けを実施しています。	身体拘束廃止のマニュアルを整備し、身体拘束をしないケアについて勉強会を開催し職員にも徹底している。 玄関施錠は昼はしておらず、さりげない見守りをしながらもセンサーを補助手段として使用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を通して虐待防止関連法の理解をし取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護事業や成年後見制度については現在勉強会の実施をしていないので今後勉強会を開催します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明と契約内容の説明を行い不明な点はその場で説明しご理解をいただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんとの会話や家族会の実施を通じてご意見などをいただく機会を作り、ご意見を反映させる取り組みを行っています。また、施設内に御意見箱を設置し日頃からご意見をいただける取り組みを実施しています。	家族会が組織され事業所の忘年会、新年会などの行事に家族を招き職員との懇談の場を設け、家族アンケートを実施したり、ご意見箱を設置するなど、利用者、家族の意見、要望を運営に反映するための取り組みがある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回全体ミーティングと月に1回全体のカンファレンスを通して職員の意見や提案を反映させる取り組みを行っています。	管理者と意見交換できる場として全体ミーティングを毎月開催し、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また法人役員と各事業所の管理者が集まり、出された意見を報告し、運営に反映させるよう検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回の昇格試験や資格取得支援の取り組みをおこない給与水準に反映させたり、職員からの意見をもとに職場環境の改善など取り組んでいます		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内に研修指導の部署があり施設内外の研修案内や指示を行い職員にあわせた勉強がしていける環境があります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修を通して同じ環境で働いている人と交流し意見交換などして意識の向上につながっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入時、本人様または家族様からの要望をお聞きしケアプランに盛り込んでいます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入時、本人様または家族様からの要望をお聞きしケアプランに盛り込んでいます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入時、要望の聞き取りとあわせその他のサービスの提案など行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	内部研修を通し利用される本人様主体の考え方を第1に考え暮らしを共にしている考え方を築けるように日々努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族様参加行事を通し情報の共有を行いながら利用者様の支援を行っていくように努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や自宅への外泊をご家族様と話し合いながらすすめています。	利用者は家族と外出したり、お盆やお正月などの時期に自宅に外泊している。事業所の行事や生活状況を定期的に家族に知らせ、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カンファレンスを通し気の合う方々を同じテーブルに座っていただいで楽しく過ごしやすい環境を考えた支援を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後の対応では必要時、本人様、家族様を通し情報提供など行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活で会話などを通して希望や要望の把握を行い月に1回のカンファレンスで検討しサービス内容に結びつけています。	定期的にあセスメントを行い把握した利用者・家族の希望・要望を介護計画に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス導入前に本人様、家族様から生活歴や趣味などの聞き取りをおこなってサービス開始時に役立てています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自宅での生活と施設利用時の生活時間にあまり変動がないように支援しています。心身の状態や有する能力についてはアセスメントを定期的におこない状態の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング後新たな課題など発生時には本人、家族、関係者との担当者会議を開催し介護計画の検討をおこなっています。	提供したケア内容の記録はあるが、介護計画に沿った介護内容の記録が不十分である。	介護計画に沿った働きかけや介護方法、利用者の反応、行動等の記録を行い、現状に即した介護計画を検討して欲しい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を作成し情報共有しながら介護計画の見直しをおこなっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	季節等のその時々生まれるニーズに対応できるよう柔軟な支援ができるよう取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握をし、安心して生活が送れるように充実した支援内容に出来るよう日々検討していきたいとおもっております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の方の意向に沿ってかかりつけ医との連絡体制をとって迅速に対応しています。	日頃の様子は事業所から情報提供し、かかりつけ医への受診は家族に協力してもらい、結果を家族から報告をもらうようにしている。協力医療機関等の往診は毎月あり、病状に変化があった場合にも対応が可能な体制にある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気にかかることなど介護職員から看護師へ相談し、受診の必要性など判断し家族様連絡やかかりつけ医へ連絡しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には担当の看護師へサマリーを作成し情報提供をおこない、お見舞いなどにかがいがい状態の把握や相談員との連絡をとり病院との連携をとっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで	重度化や終末期の対応については施設協力医との連携をとり早い段階で家族様に施設で出来ることを理解していただき今後の対応方法の説明をして取り組んでいます。	事業所として、看取り介護に関する指針を明文化している。実施の際に、利用者等の意思を確認し、医師等から病状説明し、同意書を得ることとなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修を通して応急手当や初期対応の訓練をしています。また、緊急時のマニュアルの整備を行い冷静に対応できるよう体制をとっています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を実施し、避難方法を身につける訓練をおこなっています。町内会へ相談し緊急時の応援を近所の方から受けられるよう働きかけをおこなっています	訓練計画に沿って、年2回の避難訓練を実施している。同一法人内の協力体制は構築されており、連絡網を使い通報訓練も行ったが、途中で途切れてしまった。非常通報装置やスプリンクラー等の設置はされているが、通報装置の訓練等も実施していない。	年2回の訓練は、昼間を想定して行っており、今後は夜間想定も必要だと思われる。出来るだけ回数を増やして、様々な災害を想定し訓練して欲しい。早急に地域の協力体制も構築されたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人内研修で言葉かけなど重点的に指導や対応について教育をおこなっています。今後も職員間で言葉かけや対応など意識し支援に努めていきたいとおもいます	職員は利用者一人ひとりを尊重し、プライバシーを損ねないような言葉かけ等を行っている。また、プライバシーに関する職員の研修も計画的に実施されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のなかで自分で選ぶ事が多くなるような声かけをおこなって少しでも多く自己決定が出来るように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り利用者のペースで生活していけるように希望に沿って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容店へ外出したり、訪問理容を依頼してご希望にそったおしゃれが出来るようにしています。日常の生活では洋服選びなど利用者の方主体で行っていただけるようにつとめています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	野菜を切ったり、盛り付けなどメニューに合わせ利用者と職員が一緒に出来るように努めています。	野菜の栽培、収穫、食材の買い物等食事の一連の流れの中で出来ることは利用者にお願ひし手伝ってもらいながら、一緒に行っている。職員も利用者と同じテーブルを囲み楽しい食事になるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	アセスメントを通し本人の能力に合わせた食事形態や季節や習慣を考えたメニューの作成に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを徹底し利用者の方の習慣にいただける支援をしています。本人の能力に合わせた口腔ケアを行う支援をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし、本人の状態に合わせ自立した排泄が継続、または維持できるように支援しています。	排泄チェック表により排泄パターンを把握している。把握した排泄パターン等を基にトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。日中・夜間ともオムツ使用者はあまりいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の確認をし水分の摂取など促し医師の指示のもと下剤の使用をし排便コントロールを行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	現在は予定をたてて入浴を行っていますが、今後は希望に沿った入浴が出来るように検討していきます。	入浴予定表を立てているが、利用者の状態に応じて曜日を変更したり、時間をずらすなどの対応も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疲れが見られたり、希望や状態に応じ横になっていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が現在、薬の管理をおこなっています。介護職員はアセスメントを通し、既往歴を知り薬の処方箋で薬の作用など確認しています。または薬については看護師より副作用など必要時申し送りをおこなっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干しや買い物、散歩など役割や気分転換をしてすごしていただけるように努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は買い物や近くの公園へ出かけたり、行事をとおしての外出をおこなっています。個々の要望に対応していけるよう検討していきたいとおもいます	外出は近くの公園へ散歩に出かけたり、季節ごとに事業所全体で外出の機会を作り支援している。また、家族の協力を得ながら、自宅へ帰る利用者もいる。しかし、身体状況によっては、1ヶ月1回も外出の機会がない利用者もいる。	外出が難しい利用者へも一人ひとりの状況に合わせ車椅子等を利用して外気浴ができるよう工夫して取り組んで欲しい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望や生活用品の急な必要に応じ購入できる支援をしています。現在は金銭トラブル防止のため、施設にて立て替えで買い物の対応をしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のニーズはありませんでしたが家族の方に電話がしたいという希望時には対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2階にグループホームがあり、花を飾ったりし季節感をつくるようにしています。温度計や湿度計を設置し加湿器やエアコンで調整をおこなっています	共有空間は明るく清潔に清掃されており、トイレが共有空間の近くに配置されている。利用者が作成した作品や行事等の写真等を掲示したり、花を飾り季節感が感じられるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室になっていますので1人で過ごしたいときには個室ですごせる環境があります。気の合う方同士ですごせる空間作りをおこなっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切に本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている	自宅での生活状況と変わりがないように使い慣れた家具やペットなど持ち込んでいただいております。	入居時に自宅で使用していた馴染みの物を持ち込んでもらうよう声かけしている。タンス・鏡台・テレビ・ペット・ポータブルトイレ・加湿器などを居室に持ち込み、利用者が居心地よく過ごせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるだけ自立した生活が送っていただけるように手すりの設置位置など使い勝手のような環境をつくっています。		